

る、佐郷屋君を救命したい、同時に之をチャンスとして維新を斷行し眞實の政治、眞實の國家建設に邁進を望む。

大日本護國軍 立川 某

昭和六年九月十八日滿洲事件が起りて二ヶ年二ヶ月此間日本は建て直つたか、政黨は國家國民を籠絡し、國際情勢は逼迫して居るのか現在の日本である、政治、經濟、軍備、外交に大修正の時である、日本の政府は眞實の政治をなすとは云へぬ、財閥に於ては血を流した滿洲に投資もせぬ今日、資本を國家が統制し國家、國民の爲に更正せねばならぬ、外交に於ては西洋と手を切り亞細亞にかへらねばならぬ而して皇國日本の外交を立てよ、軍備に就ては英米の擴張に對する國防の充實の爲に國民は犠牲を拂へ、リベラリスト、マルキストは日本精神を打壞わんとして居る、日

本精神に立ち歸れ然らざる者は日本人に非ず而して行動に移せ、行動に移し得ないものは價値なし。

愛國青年聯盟 林 某

國家の爲犠牲になるは何等厭わぬ、愛國の至情は死を以て日本帝國前途の爲に戦わんとするものである、我國には歐米が科學的に分析出來ざる大和魂を持つて居る、佐郷屋、五・一五事件、諸氏もこの大和魂の現れである、現在の政黨は憲政の假面を被つた政黨で會社組織の如く利権層が集り財閥と結託し權力を以て地位財産を擁護せんとしてゐる、この上流に巢喰ふ權力者が横暴を極めて居るのである總べて化へせる政治機構を片端からメスを以てウミを出し根本的改造を圖らねばならぬ、明治維新に於て平野國臣を初め多數の志士を出した福岡の市民が中心人物となり昭和